

公表

事業所における自己評価結果（児童発達支援）

| 事業所名 | からふるtoys | | | | 公表日 | 2025年2月10日 |
|---------|----------|--|-----|---------|--|---|
| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 15 | 0 | | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 15 | 0 | | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 11 | 4 | 歩行がまだ難しいお子様の場合等、療育士が手伝いながら上がる等の工夫をしている。 | 2階へ上がる外階段が少し危ない。 |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 15 | 0 | 定期的に清掃や消毒を行っている。 月1のクレンリネスを実施している。 | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 15 | 0 | | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。 | 15 | 0 | | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 15 | 0 | | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 15 | 0 | 月に1度の全体ミーティングや、日々の業務の中で意見を発信できる環境を整えている。 | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 3 | 12 | 他事業所からの意見や、センターの方からの意見を聞きながら、療育の質の向上に努めている。 | 基本的には、第三者による外部評価を行っていない。 |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 15 | 0 | 事業所内での研修はもちろん、必要に応じて外部研修にも参加している。 | |
| 適切な支援の提 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 15 | 0 | | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。 | 15 | 0 | 担当療育士のアセスメント後、保護者様に聞き取り等を行い、目的のずれを少なくするよう努力している。 | |
| | 13 | 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 15 | 0 | アセスメントシートを全ての療育士が確認・編集できるようにしており、細かな変化も共有がされるような仕組みを取っている。 | |
| | 14 | 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 15 | 0 | | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 15 | 0 | | |
| | 16 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 15 | 0 | | 計画には適切な記載をしているが、より詳細な共有や内容理解が、療育士間で難しいことがある。 計画に関しての内容理解を深めるために月1の共有の時間を設定し、実施をしていく。 |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 14 | 1 | チームでの立案、個人で立案→全体へ共有等、多角的に行っている。 | |

| | | | | | | |
|--------------|--|--|----|--|---|---|
| 供 | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 15 | 0 | | |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。 | 15 | 0 | | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 14 | 1 | 情報共有シートや割り振りメールを用い、全体への共有に努めている。 | スケジュールの都合上、必ず行うことは難しい。 |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 14 | 1 | 基本的には、提供記録・情報共有シートに記載し、確認や共有を行っている。大きな支援方針の変更があった際には、当日に振り返りを行っている。 | スケジュールの都合上、必ず行うことは難しい。 |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 15 | 0 | | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 15 | 0 | 2か月に1度のアセスメント、更新前の最終モニタリングを必ず行っている。 | |
| 関係機関や保護者との連携 | 24 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 15 | 0 | 担当者会議には、管理者と対象児童をよく担当している療育士で基本的には参画している。 | |
| | 25 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 14 | 1 | | |
| | 26 | 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 15 | 0 | | 現状は、保護者様からの問い合わせがあった際に、動く形になってしまっている。こちらからの働きかけを増やしていかなければいけない。 |
| | 27 | 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 14 | 1 | 就学時に保護者様より相談を受け、保護者様を通じて共有を行っている。 | |
| | 28 | (28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。 | / | / | / | / |
| | 29 | 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。 | | | | |
| | 30 | (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。 | | | | |
| | 31 | (31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。 | | | | |
| | 32 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。 | 12 | 3 | 事業所近くの公園を利用する際に、地域児童との交流がある。 | |
| | 33 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 15 | 0 | 口頭でのフィードバックをメインに、保護者様との共有を密に行うよう心掛けている。 | |
| 34 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 15 | 0 | ペアトレの外部研修を受講したり、研修資料を作成したりしながら、実施ができるように努めている。 | | |
| 35 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 15 | 0 | | | |
| 36 | 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 15 | 0 | | | |

| | | | | | | |
|----------|--|--|----|----|---|---|
| 保護者への説明等 | 37 | 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。 | 15 | 0 | | |
| | 38 | 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 14 | 1 | | |
| | 39 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 3 | 12 | | 以前の保護者様からのアンケートにも、父母の会等の開催は望まれておらず、積極的に機会の提供はしていない。 |
| | 40 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 15 | 0 | | |
| | 41 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。 | 15 | 0 | 月に1度、からふる通信を作成し、メールにて発信をしている。また、Instagramへ活動の様子を投稿している。 | |
| | 42 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 15 | 0 | | |
| | 43 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 15 | 0 | | |
| | 44 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 9 | 6 | | 今年度、開催は無し。 次年度以降に、地域の皆様と交流できるような機会を検討する。 |
| 非常時等の対応 | 45 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 15 | 0 | 各種マニュアル研修を年に1度以上、必ず実施し、全体の共有を行っている。 | |
| | 46 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 15 | 0 | | |
| | 47 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。 | 15 | 0 | | |
| | 48 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 14 | 1 | | |
| | 49 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 15 | 0 | | |
| | 50 | 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 15 | 0 | | |
| | 51 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 15 | 0 | | |
| | 52 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 15 | 0 | | |
| 53 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。 | 15 | 0 | | | |